

令和3年度 WEC 応用生態研究助成 審査結果

令和3年度 WEC 応用生態研究助成の募集に23件のご応募をいただきました。

採択の審査にあたっては外部審査委員による審査委員会を開催しました。審査委員会においては、新規性、ダム管理にとっての重要性、結果の応用性・現場への適用性、研究の実現性等の観点から、申請された研究課題について評価を行いました。厳正なる審査の結果、下記の3件を助成研究として採択することになりました。

採択された研究が良い成果を上げることを期待します。

令和3年度 WEC 応用生態研究助成 採択研究

助成番号	研究テーマ	氏名	所属	助成年数
2021-01	天然のダム湖である諏訪湖における動物プランクトンから魚食性鳥類までの食物網の現状把握と過去との比較	笠原里恵	信州大学理学部附属湖沼高地教育研究センター	2
2021-02	コウモリ類によるダム周辺環境の利用実態の評価- ダムはコウモリにとっての好適生息地となり得るか? -	河口洋一	徳島大学大学院社会産業理工学研究部	2
2021-03	ダム湖表層における光化学反応の解明と有機汚染物質分解過程のモデル化	吉村千洋	東京工業大学 環境・社会理工学院 土木・環境工学系	2

また、令和2年度に2年研究として採択された下記2件については、今年度研究を継続することになりました。研究がより進展することを期待します。

令和3年度 WEC 応用生態研究助成 継続決定研究

助成番号	研究テーマ	氏名	所属	助成年数
2020-03	流域に火山を有するダム直下の減水区間におけるガス湧出帯の水環境とその影響の解析	宇佐見亜希子	名古屋大学減災連携研究センター	2
2020-04	ダムの存在による河川洪水の攪乱頻度と強度の変化が河畔林の立木腐朽に与える影響	宮本敏澄	北海道大学大学院農学研究院 造林学研究室	2